測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2021/09

Ver3.7.1 で追加、修正された機能を説明します。

・GeoCOM パワーサーチは３とおりで。

・「丁張設置」に断面表示を追加

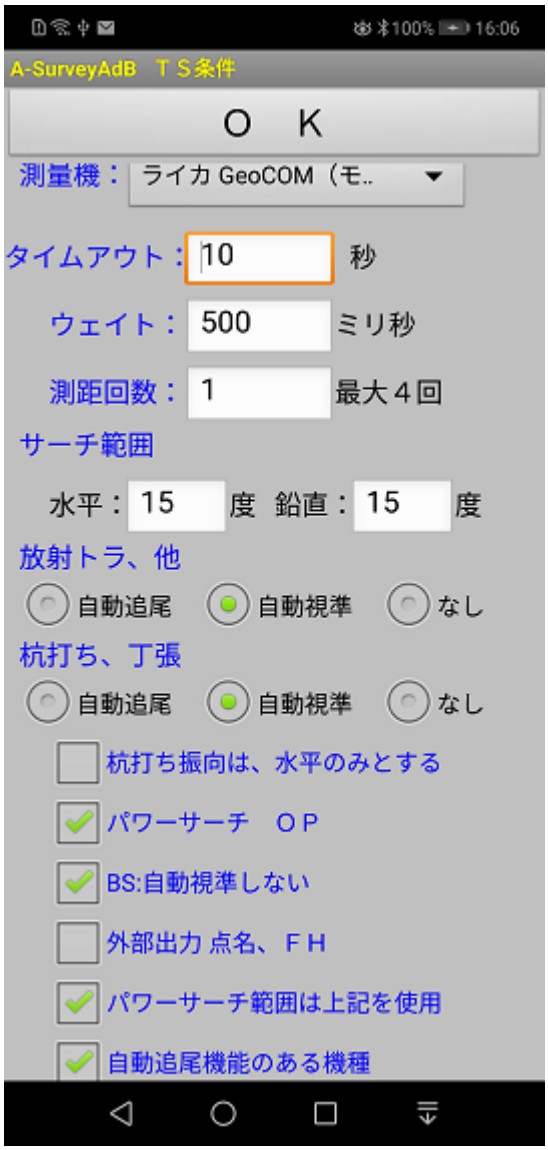
１、 GeoCOM パワーサーチは、３とおりで。

パワーサーチの使用を下記の３とおりを想定します。

①A-Survey で設定した範囲でパワーサーチ

②TS で設定した範囲でパワーサーチ

③TS の「ターゲット予測」(自動プリズムサーチ)を使用している
状態で、A-Survey からパワーサーチを実行もできます。



“パワーサーチ範囲は上記を使用”
にチェックを付けると、従来とおり
ここのサーチ範囲が有効になります。
①の設定です。

チェックを外すと、②、③で使用します。

下記は TS16 の設定画面です。

②TS で設定した範囲でパワーサーチ

この画面の様に、TS 側で範囲を設定します。

“パワーサーチウィンドウを使用”にチェックを付けます。

この状態で、A-Survey からパワーサーチを実行します。

この設定が有効です。

③TS の「ターゲット予測」(自動プリズムサーチ)を使用している

　TS 側で下記のように、ミラーをロストしたときの動作を指定できます。
この設定状態でも、A-Survey からパワーサーチを実行できます。

２、「丁張設置」に断面表示を追加

「丁張設置」の断面表示は、以前も要望に上がっていたと思いますが、
先日もありましたので、下記の様に作成しています。

何時ものように、マルチボタンで機能追加になります。
MultiBton.txt を更新して下さい。

測定し「丁張断面」ボタンを押します。

C：測定点
緑の位置：法 AC(法長)
ピンクの位置：斜 AP

断面表示している状態で、測定ができ、
図や数値が変わります。

GNSS による RTK や自動追尾機での使用時にも有用と
思います。

このプロット領域での操作は何もありません。
タップ、スワイプなどで変化しません。
拡大、縮小は出来ません。

解除する場合は、「丁張断面」ボタンを
押してください。

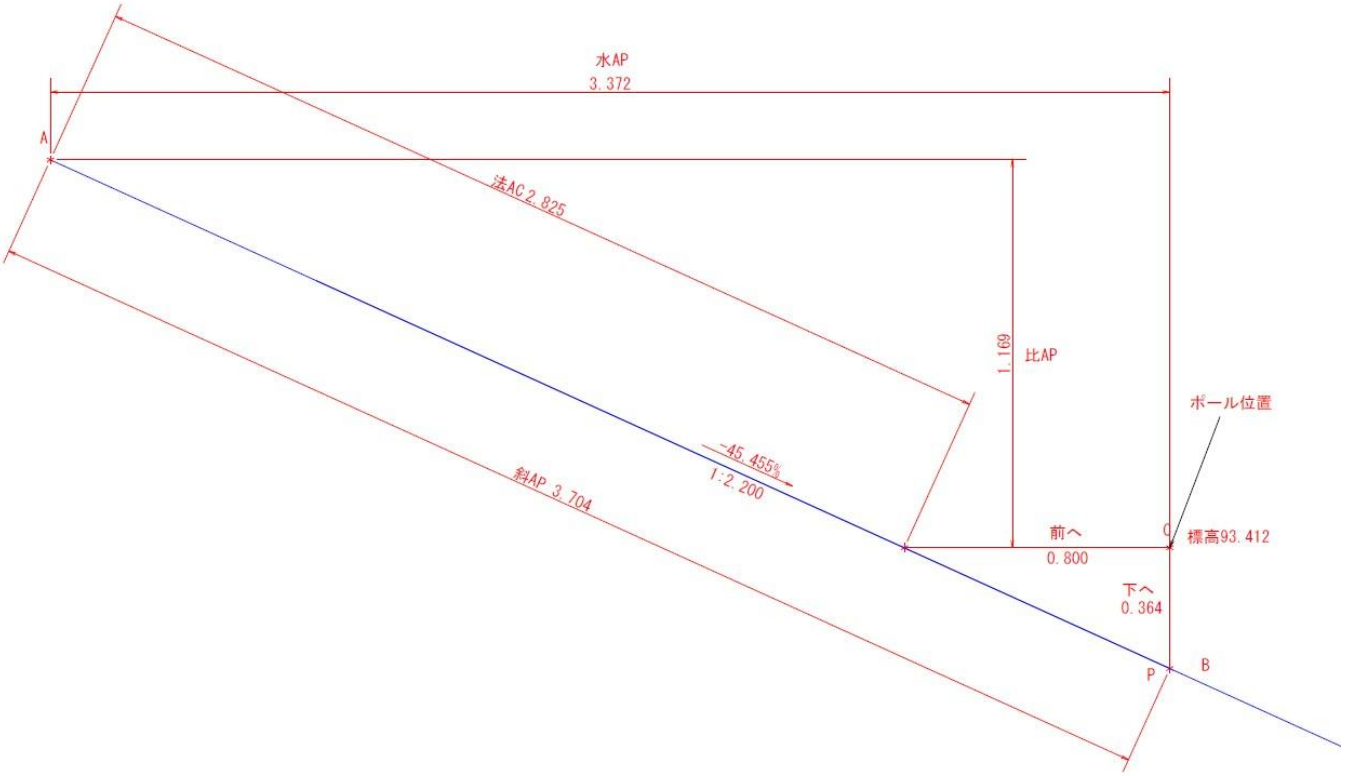
他の画面に移動し戻ると、元のプロット画面に
なります。

「丁張断面」を表示している状態で

前後の値 が　５mm以下になると

上下の数値文字が、ピンク色になります。
同時に、ピンポン、ピンポンと音が鳴ります。

RTK や自動追尾の場合は、音は１秒以上の間隔で鳴ります。


水AP
3.372
A
法AC 2.825
1.169
比AP
ポール位置
−45.455%
1:2.200
斜AP 3.704
前へ
0.800
C
標高93.412
下へ
0.364
P
B